

13068 小学校図工科教材研究 a、b Research in Elementary School Crafts Teaching Materials		3 年次～ a：後、b：前 2 単位	
担当者	小林 信悟	履修可能学科	Pe
		関 連 資 格	教職必(P e)
サブタイトル	励ましの育成と互いの営みの共有化		
授業内容 ・ ねらい	学習指導要領を概説し、次に具体的な事例及び展開をはかっていきます。 例えば、図画工作低学年の「楽しい造形活動」を取り上げると、その「表現」は、材料を探す、身近にあるものを使う、自分で考え思いつく、それらの行為全てに目配りがなされています。たとえ作品に至らなくとも、その過程に目を向け意味を探ることが、育むこと支援することへ繋がると考えます。そして「鑑賞」は、作品を通しての他者理解です。互いに感想を述べ合い、好感や理解を深めます。作品を理解しようとする眼差しは、児童期の絵に固有性と子どもの心情の発露を発見します。育みの中の容認性と美的規範の関係も意図したいと思います。素材は、皆さんが実践済み・実践する作品です。リアリティーと臨場感に誘導されながら、班単位での発表を交え『小学校学習指導要領 図画工作』の具現化をめざします。		
授業計画	1. 『学習指導要領 図画工作編』について(約 2 回) ①図画工作の目標及び内容 ②各学年の目標及び内容等 2. 独自の視点からの分類とその総和による作品の共有化(約 8 回) ① 作品を第一印象で選択(美術 I での「モノクロームの絵画」から) ② 分類項目の検討・列挙 ③ 多数派と少数派の作品の意味 ④ 伝統と現代性の担い手 ⑤ 総合的判断と部分的判断 ⑥ 作品至上主義への揺動 ⑦ 作品と作者への分類上の心得・作法 ⑧ 図工科実践における多面的、励ましの指導への応用 3. 児童画の発達段階(3 回) ① 5 段階の変遷 ② 各段階の特徴的図法の意味 ③ 児童画への理解と擁護 4. 総合学習の造形遊び：小石を素材に(約 2 回) ① 班活動への協力、戸外活動の安全運営 ② 自然の中での小石集め ③ 発表(総合的視点から) ④ 制作(見立てとイメージから) ⑤ 作品への意見交換 * 遅滞学生には補習も行う。		
教科書 参考書	参) 文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』 資料適宜配付、参考文献随時紹介		
評価方法	出席数、レポートの内容、班活動への協力度、授業への取り組み度、準備後片付けの観点で判断。		
事前準備学習 履修条件等	課題に対する理解及び参考となる資料、作品の制作及び収集。 グループ学習も行われますので全出席を推奨。		